保証書 （持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	EXP-M202 S/No.
お買い上げ年月日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年
お客様 お名前	様
お客様 ご住所	〒 TEL （ ）
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

故障内容記入欄

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

無効

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1469

EXPARTNER®

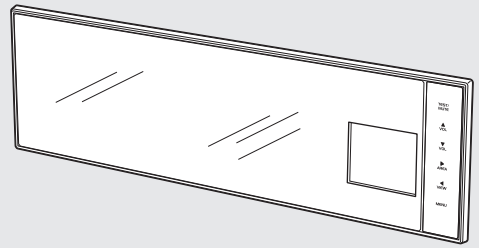
ミラータイプ
GPS＆レーダー探知機

EXP-M202

取扱説明書

12V車専用　ダウンロード対応

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。



- レーダー波を発射しない取締り（光電管式、追尾方式など）やステルス型取締りの場合、事前に探知できませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

目　次

はじめに
安全上のご注意…… 2
使用上のご注意…… 4
各部の名称とはたらき…… 6
取り付けかた…… 8
電源について…… 10
microSD カードの挿入口について …… 11
基本的な使いかた…… 12
表示内容…… 14
レーダースコープについて…… 17
エコドライブモニターについて…… 19

使いかた
レーダー編
レーダー波受信時の動作について（レーダーアラーム）… 20
レーダー波 3 識別（iDSP）について …… 21
GPS 編
GPS 測位機能について …… 22
GPS18 識別について …… 23
警告させたい地点を登録する（マイエリア登録）… 27
無線編
5 バンド受信機能について …… 28
設定編
各種設定のしかた…… 30
システム設定…… 32
レーダー設定…… 34
GPS 設定 …… 37
無線設定…… 40

その他
GPS データ更新 …… 41
itv MAP サービス …… 42
今すぐ地図表示サービス（無料） …… 42
地図閲覧サービス（無料） …… 42
取締りのミニ知識…… 43
取締りレーダー波を受信しにくい場合… 43
故障かな？と思ったら…… 44
仕様…… 46
アフターサービスについて…… 47
保証書…… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

☛ この記号は、関連するページを示します。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグコードを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

12V車以外では使用しない… 火災や感電、故障の原因となります。また、シガーライターソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かない…本体を傷めます。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

シガープラグコードは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグコードの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグコードのプラス端子、マイナス端子の汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガーライターソケットに差し込むプラグ部分を持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグコードを抜く…感電の原因となります。

●取り付けについて

⚠警告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）**の妨げにならない場所に取り付ける**…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコード使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

●使用について

⚠警告

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

急発進したり急ブレーキをかけない…本体などの脱落・落下などによるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

医用電器機の近くでは使用しない…植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電器機に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠注意

車から離れるときは、電源を切る…エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

使用上のご注意

■本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能（☛ 22ページ）がはたらかない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

■自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

■本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

表示部

・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。

・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。

・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。

・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。
ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ（1A）と交換してください。
なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

取り付けに関する注意（☛ 8ページ）

・本品の取り付けにより、サンバイザーが使用できない場合があります。

・本機が純正ルームミラーにしっかりと装着されていることをご確認のうえ、走行してください。

・本品を装着しますと、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。

・本品は、純正ルームミラーとは視界の範囲が異なりますのでご注意ください。

・本品は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動により、ミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。

・本体が車体のルーフや金属物の陰になると、GPSの電波が受信しにくくなる場合があります。

レーダーアラーム（☛ 20ページ）に関する注意

・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

・狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。（☛ 21ページ）

・レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知できませんので、あらかじめご了承ください。

GPS測位機能（☛ 22ページ）に関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。

・走行速度や距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。
GPS測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

・車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。
UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。

・GPS警報の左右方向識別ボイス（☛ 26ページ）は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線2バンド受信機能（☛ 28ページ）に関する注意

・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。

・本機は、受信した無線音声を聞くことができません。

・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。
現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2識別（☛ 29ページ）は、はたらきません。

画面表示に関する注意

・表示内容は、製品の改良などで、実際と異なることがあります。

・アイコン表示（☛ 14ページ）はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。

・GPS測位が完了するまでは、「測位情報」（☛ 15ページ）を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。

・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）

・時刻の表示は、12時間表示です。24時間表示に変更することはできません。

・走行速度や距離などの表示は、GPSの電波で計測しており、補正機能はございません。
GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
なお、車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。

・渋滞や低速走行時（発進直後を含む）は、速度表示を正しく表示しないことがあります。

microSDカードに関する注意

・GPSデータ更新の際は、市販の2GB以下のmicroSDカードを別途ご用意ください。

※microSDとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※SD規格以外（SDHC等）には対応しておりません。

・microSDカードは、本機専用でご使用ください。

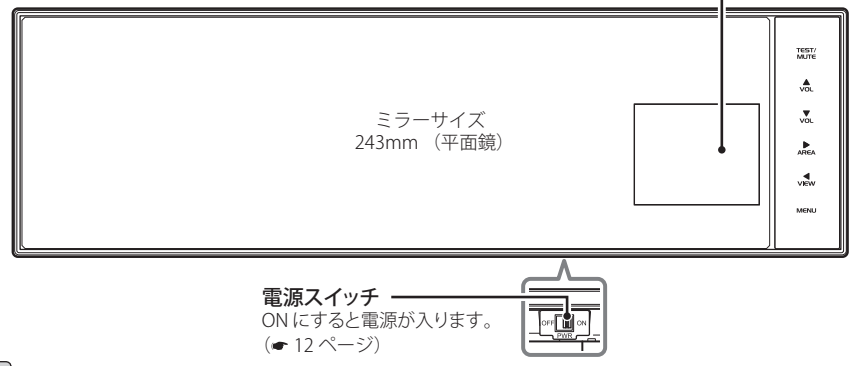
・microSDカードの出し入れは、電源がOFFの状態で行ってください。

・microSDカードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、microSDカードが壊れることがあります。

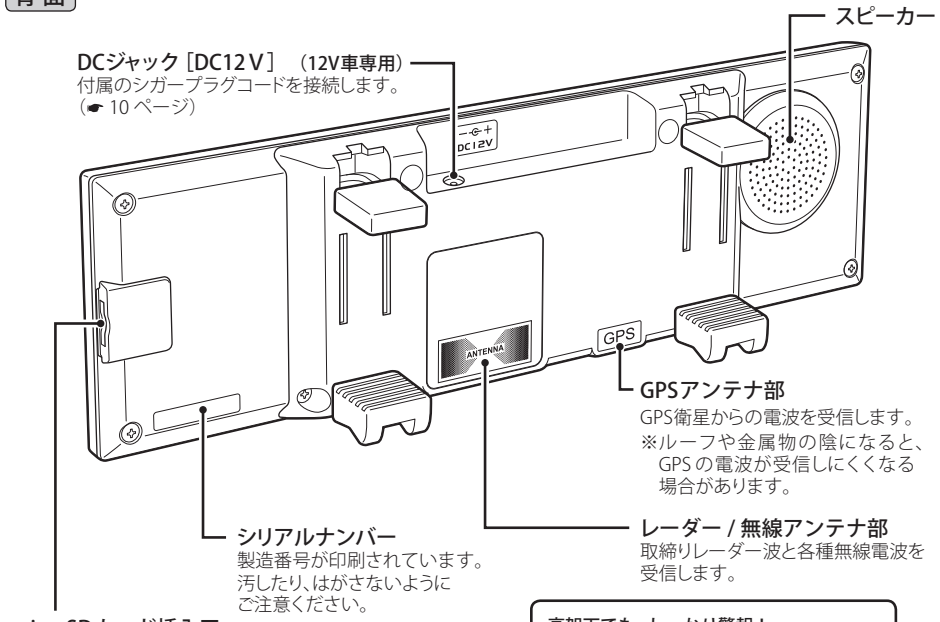
各部の名称とはたらき

本　体

正面



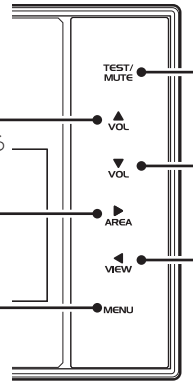
背面



高架下でも、しっかり警報！
超高感度GPS受信機能「GPS-EX」搭載！

弱信号捕捉技術により、感度が大幅に向上した超高感度GPSモジュールを採用。今まで警報しなかった高架下などの弱信号環境においても、途切れにくい動作を可能にし、警報できるようになりました。

本体操作部



テスト＆ミュートボタン［TEST/MUTE］
警報音の確認やミュート機能で使います。
（☛ 13、20ページ）

アップボタン［VOL+］
音量を上げるときや各種設定をするときに使います。（☛12ページ）

ダウンボタン［VOL−］
音量を下げるときや各種設定をするときに使います。（☛12、30ページ）

エリアボタン［AREA］
警告させたい地点を登録するときに使います。（☛27ページ）

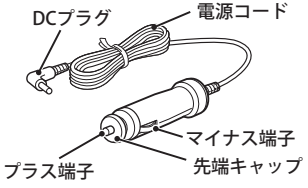
ビューボタン［VIEW］
待受画面の変更やQRコード、緯度・経度を表示させるときに使います。
（☛15、16、33 ページ）

メニューボタン［MENU］
各種設定をするときに使います。
（☛ 30ページ）

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- **シガープラグコード（約 4m）**

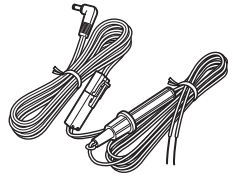


- **コードクリップセット**
- **取扱説明書・保証書**

※ 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

別売品

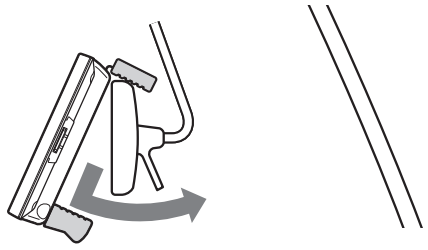
- **OP-4（電源直結コード / 約 4m）　1,575 円（税込）**
  シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。



取り付けかた

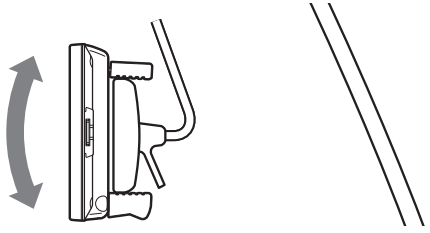
1 本体をルームミラーに挟み込む

純正ルームミラーに強い荷重が加わらないよう、手で純正ルームミラーをしっかりと支えて取り付けてください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車など）では、純正ルームミラーが破損する恐れがあります。



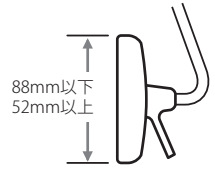
2 本体の取り付け角度を調整する

ミラーの角度調整を行うときは、本品を持って行うと外れてしまう場合がありますので、必ず純正ルームミラーを持って行ってください。

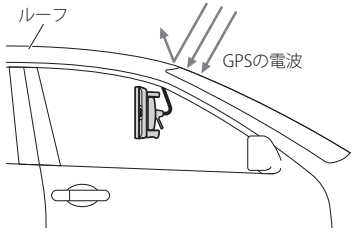


取り付け条件

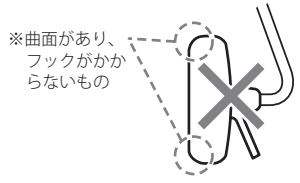
●純正ルームミラーのサイズが52mm以上、88mm以下であるもの。



●本体が車体のルーフや金属物の陰になると、GPSの電波が受信しにくくなる場合があります。



●純正ルームミラーの形状によっては、取り付けできない場合があります。

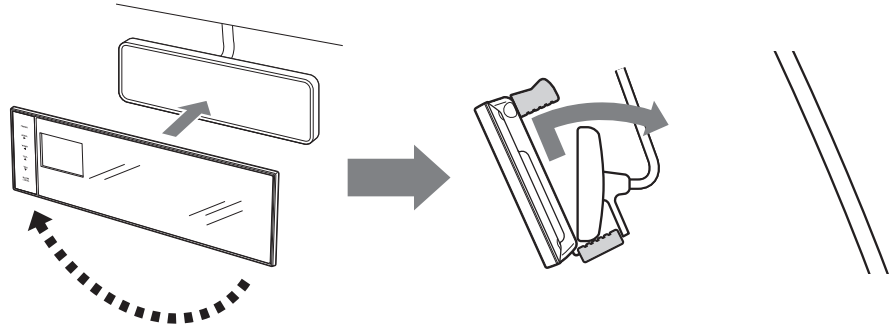


- 本機のミラー面に衝撃を与えないでください。破損でケガの原因となります。
- 本品の取り付けにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- 本機が純正ルームミラーにしっかりと装着されていることをご確認のうえ、走行してください。
- 本品を装着しますと、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- 本品は、純正ルームミラーとは視界の範囲が異なりますのでご注意ください。
- 本品は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動により、ミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。

上下反転取り付けについて

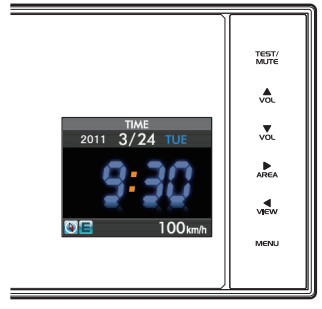
本機は、お好みに応じて上下を反転して取り付けることで、液晶画面の位置が変えられます。（左ハンドル車対応）

- 取り付けは、ルームミラーに強い荷重が加わらないように、ルームミラーをしっかりと支えて行ってください。車体への取り付け強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車など）では破損の原因となります。



取り付け方向に合わせて、設定により表示画面の上下を反転させることができます。（☛ 31ページ）

通常取り付けの場合



上下反転取り付けの場合

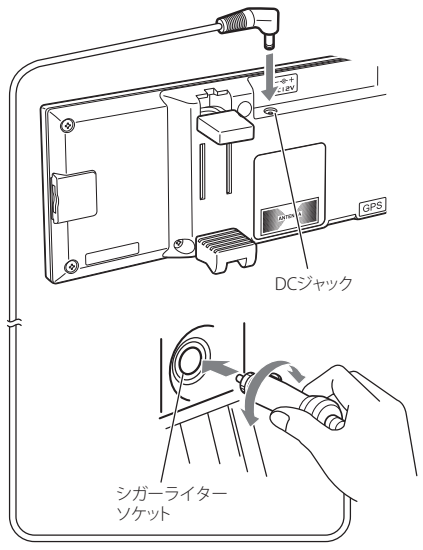
電源について

1 **付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む**

2、3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込んでください。

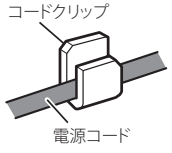
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード（OP-4）を使用してください。

必ず本機を取り付けたあとで、シガープラグコードを接続してください。



コードクリップの使いかた

付属のコードクリップセットで、シガープラグコードがきれいに配線できます。
コードクリップを両面テープで貼り付けます。



- 布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
- 貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。

microSD カードの挿入口について

GPS データの更新の際は、市販の 2GB 以下の microSD カードをご用意ください。

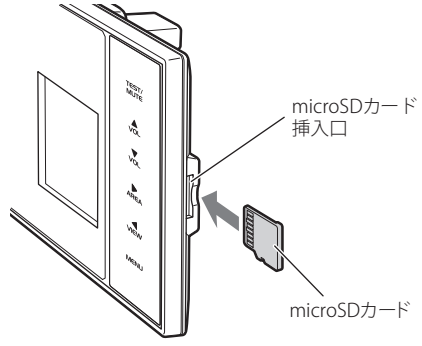
⚠注意

- microSDカードの出し入れは、 電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

※ microSD との相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※ SD 規格以外（SDHC 等）には対応しておりません。

1 **microSD カードを装着する際は、右図の向きに合わせ、『カチッ』と音がするまで microSD カード挿入口に押し込んでください。**

microSD カードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

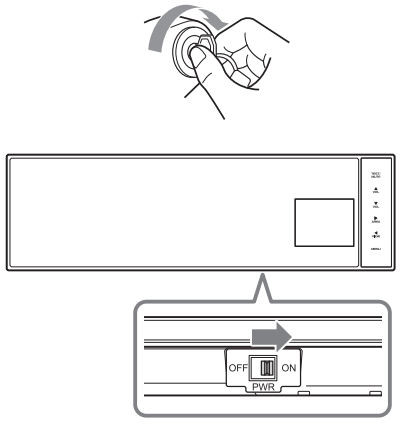


- microSD カードは、本機専用でご使用ください。
- microSD カードは、必ず取り外してご使用ください。
- microSD カードの装着や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- データ更新中は、絶対に microSD カードを抜かないでください。
- microSD カードを装着したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- microSDカードを取り外したあとは、各microSDカードの説明書の指示に従って大切に保管してください。

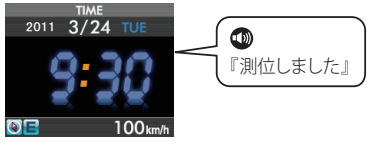
基本的な使いかた

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、電源スイッチを「ON」にします。
電源 ON 時の確認音（ターンオンボイス）『パワー ON です』が鳴り、オープニング表示します。



電源が入ると、「GPS 測位機能」（☛22 ページ）がはたらき、GPS の電波を受信すると、待受画面が表示されます。



2 音量を調節する

アップボタン VOL / ダウンボタン VOL で調節できます。
『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに VOL を押すと『プブッ』と鳴ります。

［マナーモード表示］

音量「0」からさらに VOL を押すと「マナーモード」になります。解除するときは VOL を押します。

マナーモードについて

音量調整時、音量「0」の状態からさらに VOL を押すと「マナーモード」になり、マナーモード表示を約2秒間したあと、表示が消えます。
GPSターゲットやレーダー波などの各種警報（音や表示）も行われません。

・マナーモードは、VOL を押すと解除でき、他のボタンを押すとマナーモード表示となります。

3 実際に走行してみる

テストモード

テスト＆ミュートボタン TEST/MUTE を押している間はテストモードとなり、警報音が確認できます。テスト&ミュートボタン TEST/MUTE から指を放し1秒以内に再度押すと、ボイスフレーズの確認ができます。

表示内容

※ アイコン表示は、GPS 測位状況や各種設定状況等により異なります。

次ページに続く

アイコン表示について

フレックスディマー

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。
GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的に画面表示の明るさを調整します。

※ 操作部ボタンのバックライトの明るさは一定です。

	表示名	アイコン	表示の意味
❶	方位磁針表示		GPS測位後に表示し、 走行すると赤色の針が北方向を指します。(停車状態のままでは針が青色で動きません)
❷	GPS測位表示		GPS測位するまでの間、点滅表示します。(☛ 22ページ)
❸	レーダー受信感度モード表示		AAC/不要警報カットやレーダー受信感度の状態を表示します。(☛ 35ページ)
❹	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。(☛ 28、29ページ)
❺	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅表示します。(☛ 38、39ページ)
❻	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。(☛ 39ページ)
❼	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(☛ 20ページ)

・表示内容は、製品の改良などで、実際と異なることがあります。

GPSも、無線も、レーダーも、表示とボイスで警報します。

- **GPS 18識別**
- **無線2バンド識別**
- **ベストパートナー 2識別**
- **レーダー波 3識別**

→ **ターゲット25識別**

主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

待受画面

待受画面(　33ページ) の設定で変更可

- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、12時間表示です。
- 表示切替距離(☛ 38ページ) の設定で、「レーダー画面固定」を選択している場合、待受画面は表示されません。
- 走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ビューボタン VIEW を押すことで、簡単に待受画面を変更することもできます。

時計

時刻を表示

速度

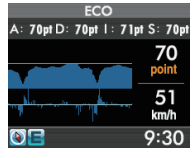
走行速度を表示

カレンダー

年月日、曜日を表示

エコドライブ

エコドライブの評価を採点表示



詳しくは、「エコドライブモニターについて」(☛19ページ) をご覧ください。

測位情報

衛星位置、衛星ナンバー、受信レベルを表示

※衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

表示内容

※ アイコン表示は、GPS 測位状況や各種設定状況等により異なります。

3色識別アラーム

高 ← 注意度 → 低

赤ウィンドウ警報

ステルスなど最も注意度が高い場合は、赤ウィンドウで警報！

黄ウィンドウ警告

取締エリアなど注意度の高いターゲットは黄ウィンドウで警告！

青ウィンドウ告知

事故多発エリアなどの情報は青ウィンドウで告知！

- ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示。
- ステルスやレーダー波は電波の受信レベルを5段階で表示。（☛ 20ページ）
- 駐禁最重点エリア内では駐禁アイコン表示。（☛ 14ページ）

※3色識別アラームをOFFにすることはできません。

オービスグラフィックアラーム

オービスをリアルなグラフィックで種類をわかりやすく警報！
制限速度や走行速度も表示します。

※トンネル出口ターゲットやトンネル内オービスの場合は表示されません。
※オービスグラフィックアラームをOFFにすることはできません。
※警報ウィンドウのイラストは、実際のオービス現場とは異なります。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity. MAPサービス（☛ 42ページ）をご活用いただけます。

○ 表示方法

ビューボタン VIEW を長押し（約1秒）する。

必ず、車を止めてから操作してください。

- 表示部にQRコードと緯度（N）・経度（E）を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、 表示されません。
- 戻るときは、ビューボタン VIEW を押してください。

レーダースコープについて

次ページに続く

GPS ターゲット（警報ポイントなど）が近いのか！ 要注意か！ 直感的にわかる！
レーダースコープ［特許出願中］
自車を中心に半径 1km 圏内にある複数の GPS ターゲットを同時に表示！（＊）ターゲットと自車の位置関係が一目瞭然！
それらターゲットの注意度を 3 色のアイコンで識別表示し、直感的にわかる警報を実現！

※ 画面上は最大 100 ターゲットまで同時に表示可能

さらにオービスの GPS ターゲット（ループコイル／ LH システム／新 H システム／レーダー式オービス）警報時はオービスグラフィックアラーム、その他の GPS ターゲット警報時は 3 色識別アラームでお知らせ。

レーダースコープ画面

GPSターゲットを探知すると…

探知したGPSターゲットにフォーカスし、これから何を警報するのかをアイコン表示などでお知らせします。

- 制限速度表示は、オービス（ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス）警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、 ずれることがあります。
- 表示内容は、製品の改良などで、実際と異なることがあります。

レーダースコープについて

GPS ターゲットアイコンの表示について

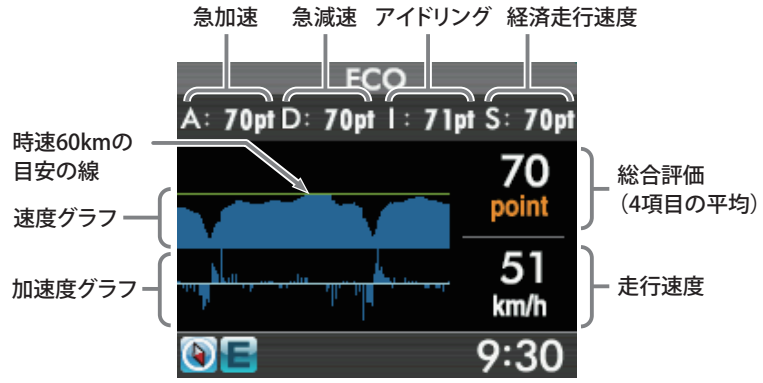
GPS ターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」の 3 色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	
	LHシステム	
	新Hシステム	
	レーダー式オービス	
黄色	マイエリア	
	取締エリア	
	検問エリア	
	交差点監視ポイント	
	信号無視抑止システム	

色	ターゲット	アイコン表示
青色	Nシステム	
	交通監視システム	
	警察署	
	事故多発エリア	

エコドライブモニターについて（特許出願中）

GPS の電波を受信して得られる速度データをもとに、A:急加速のポイント、D:急減速のポイント、I：アイドリングのポイント、S：経済走行速度のポイントの 4 項目から総合評価します。
エコドライブモニターは、待受画面を「エコドライブ」に設定すると表示されます。（☛ 33 ページ）
環境や経済走行の目安としてご使用ください。



A（急加速）	急加速と判断するとポイント（pt）を減点します。（初期値：70pt）
D（急減速）	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント（pt）を減点します。（初期値：70pt）
I（アイドリング）	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント（pt）を減点します。（初期値：70pt）
S（経済走行速度）	時速60km前後での走行と判断するとポイント（pt）が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント（pt）を減点します。制限速度が100km/hの高速道路で、60km/h以上の高速走行や渋滞などによる60km/h以下の低速走行もポイント（pt）が減点されます。（初期値：70pt） ※実際の交通規制に従って走行してください。
総合評価	「A（急加速）」「D（急減速）」「I（アイドリング）」「S（経済走行速度）」の各ポイント（pt）の平均を算出します。

・GPS 測位できない場合は、各項目の採点は行いません。
・各項目のポイント（pt）表示は、上限 100pt、下限 0pt です。
「データ消去」（☛ 33 ページ）を行うとリセットされます。（各項目のリセットの値は 70pt で、項目別にリセットすることはできません）
・加速度計、速度グラフ、加速度グラフは、加速時や減速時に合わせて変化します。
・速度グラフと加速度グラフの表示は、電源を OFF にするとリセットされます。
・エコドライブモニターは、GPS の電波を受信して得られる速度データをもとに評価するものであり、実際に燃費が向上する訳ではありません。目安としてお考えください。

レーダー波受信時の動作について（レーダーアラーム）

本機は、W アラームと接近テンポアップの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。［レーダーアラーム］

W アラーム

音（電子音／ボイス）と表示のダブルで警報します。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

後方受信

iDSP による超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

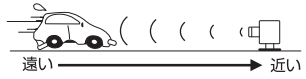
ミュート機能

取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト＆ミュートボタン TEST/MUTE を押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近（電波の強弱）にあわせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
表示部	受信レベルが変化します。 受信レベル表示

・電子音以外はテンポアップしません。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

レーダー波 3 識別（iDSP）について

本機は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術（integrated Digital Signal Processing-Technology）により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル（☛ 36 ページ）により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

［ステルス識別］
［インテリジェントキャンセル：特許 第 3902553 号、第 4163158 号］

※ iDSP はステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

① ステルス波

② 通常レーダー波

③ キャンセル告知

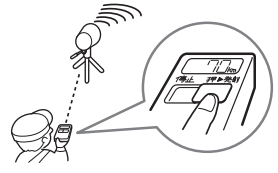
・レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
・新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。



＜ステルス波を受信したとき＞

受信

♪効果音のあとに『ステルスです ステルスです』

『ステルスです』と警報したあとは、通常の警報音（電子音、ボイス）の警報になります。

GPS 測位機能について

GPS（Global Positioning System）とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式、LH システムのオービス（無人式自動速度取締り装置）にも警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムや N システム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、18 種類のターゲットを識別してお知らせします。［GPS18 識別］

GPS測位機能は、本機の電源をONにするとはたらきます。
GPS測位機能のみOFFにすることはできません。

測位アナウンスについて

・GPSの電波を受信（測位）すると、『測位しました』とお知らせします。約5分経過しても測位できないときは、『GPSをサーチ中です』とお知らせします。
・測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『GPSを受信しました』とお知らせします。
・ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。
・測位アナウンスを「OFF」にすることはできません。

通常、測位するまで、約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、測位に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

・本機には、バッテリー（バックアップ電池）が内蔵されていますが、ご使用開始からの数日間や受信状況が悪い場合、GPS測位に時間がかかる場合があります。

GPS18 識別について

次ページに続く

内蔵メモリーに登録されている GPS データのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを 18 種類に識別してお知らせします。

ターゲット	警報画面例	警報音（ボイス）の例
1 ループコイル		『500m先 ループコイルです』
2 LHシステム		『500m先 LHシステムです』
3 新Hシステム		『1km先 Hシステムです』
4 レーダー式オービス		『1km先 高速道レーダーです』
5 トンネル内オービス		『トンネル内 高速道LHシステムです』
6 トンネル出口ターゲット		『トンネルの出口付近 高速道LHシステムです』

次ページに続く

ターゲット	警報画面例	警報音（ボイス）の例
7 オービス制限速度		※警報音はありません。（表示のみ） ※トンネル出口ターゲットの場合、制限速度は表示されません。
8 マイエリア		『500m先 マイエリアです』
9 取締エリア		『取締エリアです スピード注意』
10 検問エリア		『検問エリアです スピード注意』
11 取締・検問圏外識別		『取締エリア外です』 『検問エリア外です』
12 交差点監視ポイント		『すぐ先 交差点監視ポイントです』
13 信号無視抑止システム		『すぐ先 信号無視抑止システムです』

ターゲット	警報画面例	警報音（ボイス）の例
14 駐禁最重点エリア		『この付近 駐禁最重点エリアです』
15 Nシステム		『すぐ先 Nシステムです』
16 交通監視システム		『すぐ先 交通監視システムです』
17 警察署		『500m先 警察署です』
18 事故多発エリア		『すぐ先 事故多発エリアです』

・警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
・警報音（ボイス）は、♪効果音のあとにお知らせします。
・GPS警報は常に高速道および一般道のすべてのターゲットを警報します。道路の識別はできません。

●交差点監視ポイント

過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、『（右／左方向）すぐ先交差点監視ポイントです』とお知らせします。

・交差点監視ポイントのお知らせをOFFにすることはできません。

●信号無視抑止システム

信号無視抑止システムの約300m手前から通過直前に、『（右／左方向） すぐ先信号無視抑止システムです』とお知らせします。

・信号無視抑止システムのお知らせをOFFにすることはできません。

GPS18 識別について

●交通監視システム

交通監視システムとは、「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
約300m手前から通過直前に、『（右／左方向）すぐ先交通監視システムです』とお知らせします。

- 本システムは計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。
- 交通監視システムのお知らせをOFFにすることはできません。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの出口付近に設置されているターゲット（オービスなど）に対し、トンネル入口の手前約500m　とトンネルの入口直前で警報します。

※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

- 『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ターゲットの反対方向に対してはお知らせしません。

※以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

- トンネル内オービス
- トンネル出口ターゲット
- オービス制限速度
- 取締・検問圏外識別
- 駐禁最重点エリア

●トンネル内オービス警報

トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報できませんでした。
本機では、トンネルの約500m手　前と入口直前の2カ所（※）で、トンネル内のオービスを警報画面とボイスでお知らせします。

※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

●ターゲット通過告知

オービスの撮影ポイント（※）やマイエリアポイントの通過を告知します。…『ポーン 通過します』

※実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

- GPS電波の受信状況などにより、 告知が遅れる場合があります。
- トンネル内オービス、トンネル出口ターゲットはGPSの電波が受信（測位）できないため、ターゲット通過告知がはたらきません。

●オービス制限速度

約1km手前のオービス（ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式）警報時に道路の制限速度を表示します。

- 制限速度は『30キロ／40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ／120キロ』のいずれかで表示します。
- 普通自動車に対する制限速度を表示します。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。
- トンネル出口ターゲットの場合、制限速度は表示されません。

警告させたい地点を登録する（マイエリア登録）

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。［マイエリア］

- 登録数は、マイエリア、インテリジェントキャンセル（☛36ページ）の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

① 登録したい地点で エリアボタン AREA を押す

② アップボタン VOL ／ダウンボタン VOL で「登録」を選択し、メニューボタン MENU を押す

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、 マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km／500m　／通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km（500m） のとき…〉
『右（左）方向 1km（500m） 先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉
『通過します』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知（『1km先』、『500m先』 ）を『この先』や『すぐ先』とお知らせすることがあります。

登録したマイエリアを解除する

① マイエリア登録されているエリアで、エリアボタン AREA を押す

② アップボタン VOL ／ダウンボタン VOL で「登録」を選択し、メニューボタン MENU を押す

『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」（☛33ページ）を参照ください。

5 BAND 5バンド受信機能について

取締りレーダー波のX・Kツインバンドと GPS の3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

GPS ＋ Xバンド / Kバンド ＋ 無線2バンド ＝ 5 BAND

1. 無線2バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線2バンド（カーロケ無線、取締無線）受信機能を搭載しました。
取締無線、カーロケ無線を受信すると、警報画面とボイスでお知らせします。[**無線2バンド識別**]

＜取締無線、カーロケ無線を受信すると…＞

受信バンド	警報画面	警報音（ボイス）
① カーロケ無線		『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ近接受信です』
② 取締無線		『取締無線です』

- 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 警報音（ボイス）は、♪効果音のあとにお知らせします。
- レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。

2. ベストパートナー2識別

カーロケ無線を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。[**圏外通知**] [**特許 第3780262号**]

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたらきます。

無線設定の「カーロケ・取締無線」（☛ 40 ページ）を「ON」にする

※「カーロケ・取締無線」が OFF の状態では、ベストパートナー2識別を行いません。
※ 新システムへの移行により、カーロケ無線が受信しない地域では、ベストパートナー2識別は、はたらきません。

種々の無線を受信すると・・・

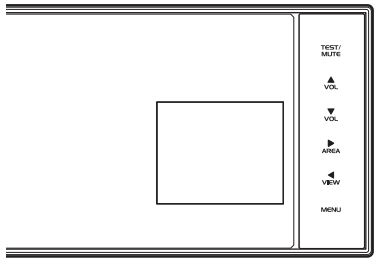
識別項目	注意内容	警報画面	警報音（ボイス）
① カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき		『カーロケ遠方受信です』
			『カーロケ近接受信です』
② カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき		・カーロケ圏内中は、 のアイコンが表示され、警報語句のお知らせはありません。
			『カーロケ 圏外です』

- 警報音（ボイス）は、♪効果音のあとにお知らせします。
- 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。 現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2識別機能ははたらきません。

使いかた／無線編

各種設定のしかた

各種設定は、表示部を見ながら、本体のボタン操作で行います。



例 >>

待受画面を「速度」に設定変更するには・・・

1 「設定モード」にする

メニューボタン MENU を押します。

・選択項目が反転表示されます。

2 「システム設定」の項目を決定する

メニューボタン MENU を押します。

3 「待受画面」の項目を決定する

メニューボタン MENU を押します。

4 「速度」を選択し、決定する

ダウンボタン ▼VOL を押して「速度」を選択し、メニューボタン MENU を押します。

・変更した項目に「●」が移ります。

5 「設定モード」を終了する

メニューボタン MENU を長押しします。

設定終了後、30秒以内に再度「設定モード」にすると、前回設定した項目が最初に表示されます。

各種設定の初期値一覧

: 初期値（お買い上げ時）

●システム設定

設定項目	詳細ページ	選択項目						
待受画面	☛ 33	時計	速度	カレンダー	エコドライブ	測位情報	ローテーション	OFF
明るさ	☛ 33	最小	暗い	ふつう	明るい			
画面反転	☛ 33	ON	OFF					

●レーダー設定

設定項目	詳細ページ	選択項目		
レーダー警報音	☛ 35	電子音	ボイス	
受信感度モード	☛ 35	シティ	エクストラ	AAC/ASS
I キャンセル	☛ 36	ON	OFF	
反対キャンセル	☛ 36	ON	OFF	

●GPS設定

設定項目	詳細ページ	選択項目			
表示切替距離	☛ 38	待受画面固定	500m	1000m	レーダー画面固定
オービス	☛ 38	ON	OFF		
取締エリア	☛ 38	ON	OFF		
検問エリア	☛ 39	ON	OFF		
駐禁監視エリア	☛ 39	ON	OFF		
Nシステム	☛ 39	ON	OFF		
警察署	☛ 39	ON	OFF		
事故多発エリア	☛ 39	ON	OFF		

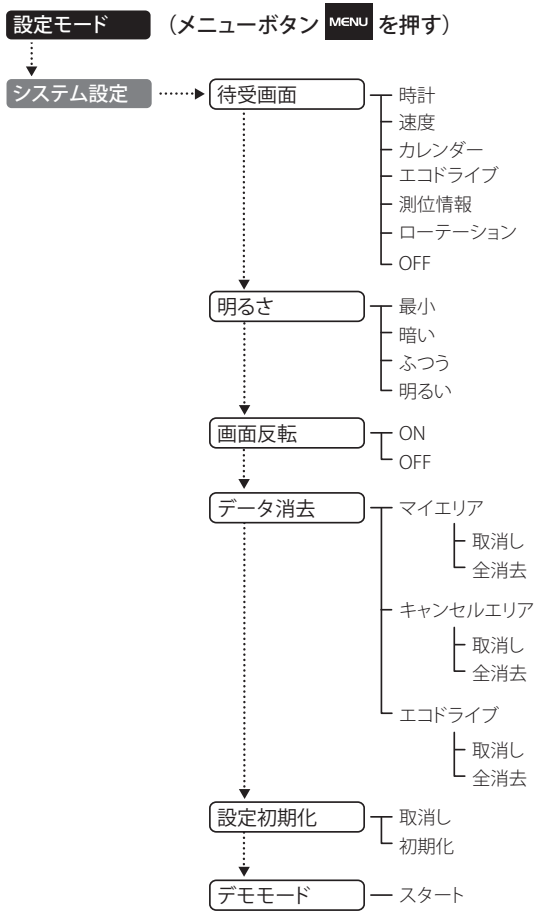
●無線設定

設定項目	詳細ページ	選択項目	
カーロケ・取締無線	☛ 40	ON	OFF

システム設定

設定メニューにそって、システム設定の設定変更ができます。
・詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 30 ページ)をご覧ください。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈待受画面〉

待受時の表示画面を「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択できます。

※ 日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
※ 走行速度の表示は、GPS 測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
※ 測位情報は衛星数、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
※ ローテーションは「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「測位情報」が 1 分間隔で切替ります。
※ 「OFF」に設定すると待受画面は表示されません。
※ 「OFF」に設定している状態でも、GPS ターゲットやレーダー波などの各種警報（音や表示）は行われます。
※ 表示切替距離（☛ 38 ページ）の設定で、「レーダー画面固定」を選択すると、常にレーダースコープ画面を表示します。
※ 初期値は「時計」に設定されています。
※ ビューボタン VIEW を押すことで、簡単に待受画面を変更することも可能です。

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の 4 段階で切替えることができます。

※ 初期値は「ふつう」に設定されています。

〈画面反転〉

表示画面の上下を反転させることができます。

※ 「画面反転」→「ON」に設定すると画面が上下逆転します。
※ 初期値は「OFF」に設定されています。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア（インテリジェントキャンセル）」「エコドライブ」のデータをすべて消去できます。

※ 消去したい項目（マイエリア、キャンセルエリア、エコドライブ）を選び、「全消去」を選択・決定するとデータが消去されます。
※ いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
※ 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

※ いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
※ 本機に登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

〈デモモード〉

レーダー受信や GPS 警報などの音声や画面表示を実演できます。

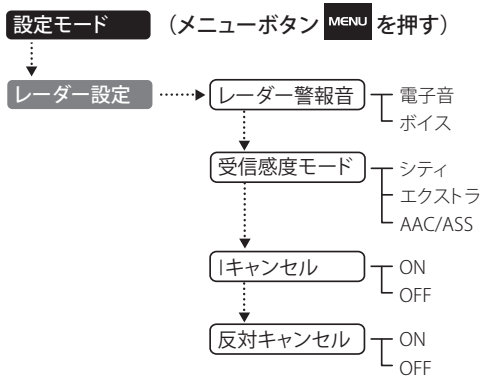
※ スタートを選択するとデモモードが始まります。
※ デモモード中にボタン操作するとデモモードは終了します。

レーダー設定

次ページに続く

設定メニューにそって、レーダーの設定変更ができます。
・詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 30 ページ)をご覧ください。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈レーダー警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。
※ 初期値は「ボイス」に設定されています。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。

〈受信感度モード〉

レーダー受信感度を選択できます。
※ 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件にあわせて、受信感度をお選びください。
※ 初期値は「AAC/ASS」に設定されています。

選択項目	アイコン表示
シティ エクストラ	C E
AAC/ASS	⛔(時速30km未満) C E (車速により変化)

「シティ」・「エクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低い	エクストラ	郊外や高速道路
	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS 測位機能により、AAC/ 不要警報カットや ASS/ 最適感度選択がはたらきます。

● **AAC/ 不要警報カット**
走行速度が時速 30km 未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

● **ASS/ 最適感度選択**
走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態	受信感度
0km～29km		⛔	警報しない	―
30km～39km	シティ	C	警報する	低い ↓ 高い
40km～	エクストラ	E	警報する	

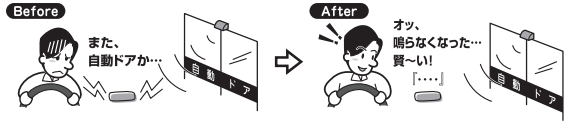
※ 電源 ON 後、GPS 測位するまでの間は、エクストラになります。
※ 走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。

〈アイ(Ｉ)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル)[特許　第 3902553 号、第 4163158 号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPS の位置情報を自動で登録し、2 回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
登録数は、インテリジェントキャンセル、マイエリア(☛27ページ)合計で 1,000 カ所まで可能です。1,000 カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]



・キャンセル中の画面

レーダー波の受信レベル

※ GPS 測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
※「Ｉキャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
※ 自動登録したエリアは、「Ｉキャンセル」の設定や電源を OFF にしても記憶されています。
※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(☛33 ページ)をご覧ください。

〈反対キャンセル〉(反対車線オービスキャンセル機能)

GPS データに登録されている新 H システムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

反対車線オービスキャンセル中の画面

次ページに続く

設定メニューにそって、GPS の設定変更ができます。
・詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛30 ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定モード　(メニューボタン MENU を押す)

- GPS設定
  - 表示切替距離 — 待受画面固定 / 500m / 1000m / レーダー画面固定
  - オービス — ON / OFF
  - 取締エリア — ON / OFF
  - 検問エリア — ON / OFF
  - 駐禁監視エリア — ON / OFF
  - Nシステム — ON / OFF
  - 警察署 — ON / OFF
  - 事故多発エリア — ON / OFF

設定項目の詳細説明

〈表示切替距離〉

待受画面からレーダースコープ画面に切替る距離を選択できます。

※ 待受画面固定を選択した場合、待受画面のままレーダースコープ画面に切替りません。
※ レーダー画面固定を選択した場合は、常にレーダースコープ画面の表示となり、待受画面が表示しません。
※ 初期値は「1000m」に設定されています。

〈オービス〉

オービス 4 段階警報の ON/OFF ができます。

オービス 4 段階警報とは？

オービス（ループコイル／ LH システム／新 H システム／レーダー式）に対する警報を手前約 2km（高速道のみ）／ 1km ／ 500m ／通過中（通過告知）の最大 4 段階で行います。

● **警報音（ボイス）によるお知らせ（例）**

- **・手前約 1km（500m）** → 『1km（500m）先 高速道 LH システムです』
- **・通過中（通過告知）** → 『通過します』

※ 約 2km 手前の警報（高速道のみ）は、走行路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。
※ GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知（『1km 先』、『500m 先』）を『この先』や『すぐ先』とお知らせすることがあります。
※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスの警報は、オービス 4 段階警報とは異なります。（☛26 ページ）

〈取締エリア〉

「取締エリア警告」の ON ／ OFF ができます。
過去に「定置式取締り」、「移動式取締り」、「追尾式取締り」、「一時停止取締り」、「交差点取締り」などが行われていた場所が登録されています。
取締の登録ポイントから約 1km 手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの 3 段階でお知らせします。

● **ボイスによるお知らせ（例）**

- **・約 1km 手前** → 『1km 先　取締エリアです』
- **・エリア内に入ったとき** → 『取締エリアです　スピード注意　取締エリアです　スピード注意』
- **・エリア圏外になったとき** → 『取締エリア外です』

※ 取締りの種類（定置式取締り、移動式取締り、追尾式取締り、一時停止取締り、交差点取締り）のお知らせはありません。
※ 一部の取締りエリアでは、約 1km 手前のお知らせを行いません。
※ 取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

〈検問エリア〉

「検問エリア警告」の ON ／ OFF ができます。
過去に「シートベルト検問」、「飲酒検問」、「携帯電話検問」などが行われていた場所が登録されています。検問の登録ポイントから約 1km 手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの 3 段階でお知らせします。

● **ボイスによるお知らせ（例）**

- **・約 1km 手前** → 『1km 先　検問エリアです』
- **・エリア内に入ったとき** → 『検問エリアです　検問エリアです』
- **・エリア圏外になったとき** → 『検問エリア外です』

※ 検問の種類（シートベルト検問、飲酒検問、携帯電話検問）のお知らせはありません。
※ 検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

〈駐禁監視エリア〉

「駐車禁止監視エリア警告」の ON/OFF ができます。
本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、『この付近駐禁最重点（重点）エリアです』とお知らせします。

※ 駐車禁止監視エリアのアイコン（☛14 ページ）は、駐禁最重点（重点）エリア内に進入した時点で表示されます。

〈エヌ（N）システム〉

「N システム告知」の ON/OFF ができます。
N システムは約 300m 手前から通過直前に、『（右／左方向）すぐ先（高速道）N システムです』とお知らせします。

N システムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

〈警察署〉

警察署の約 500m 手前から通過直前に、『（右／左方向）500 m先 警察署です』とお知らせします。

※ GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m 先』を『すぐ先』とお知らせすることがあります。

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」の ON/OFF ができます。
過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約 300m 手前になると、『（右 / 左方向）すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。

無線設定

設定メニューにそって、無線の設定変更ができます。
・詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 30 ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定モード （メニューボタン MENU を押す）
↓
無線設定 ……▶ カーロケ・取締無線 ┬ ON
└ OFF

設定項目の詳細説明

〈カーロケ・取締無線〉

本設定を ON にすると、カーロケ無線、取締無線の電波を受信した際、警報画面とボイスでお知らせします。

カーロケ無線とは？

「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局（パトカー等）の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPS による緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz 帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

・カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない（OFF にしている）場合等で、カーロケ無線を受信できないことがあります。
・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
・受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

取締無線とは？

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHz の電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。

・取締り現場での連絡方法には 350.1MHz の電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

GPS データ更新

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機の GPS ターゲットデータの更新を行っていただけます。
※地図データの更新はできません。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。
http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity. クラブホームページアドレス
http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html

電話でのお問い合わせは下記フリーコールにお願いします。
◆ユピテル ity. クラブ窓口
受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）
フリーコール 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

ity.MAP サービス

今すぐ地図表示サービス（無料）

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテイメント情報や季節情報を表示します。
また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
※ バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
※ 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

① レーダー探知機のビューボタン VIEW を長押し（約1秒）してQRコードを表示させる。
※GPS非測位のときは、表示されません。

↓

② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。

↓

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス（無料）

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテイメント情報を表示します。また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
※ インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
※ 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
http://www.yupiteru-itymap.com/

↓

② レーダー探知機のビューボタン VIEW を長押し（約1秒）して緯度（N）・経度（E）を表示させる。
※GPS非測位のときは、表示されません。

↓

③ 携帯電話に緯度（N）・経度（E）を入力する。

↓

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

●PC専用サイト
http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

詳しくは、弊社ホームページ「ity.MAP サービス」（http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html）をご覧ください。

※ 本サービスで使用している地図の著作権は、株式会社昭文社に帰属されます。
地図データの編集・加工による二次使用は、禁じております。

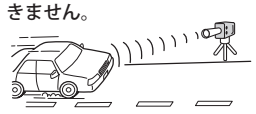
取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）
取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。
- **対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。**



2. 距離と時間で算出する方法（光電管・ループコイル式オービス）
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
- **この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合警報することができます。**

3. 追走して測定する方法（追尾方式）
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。
- **追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。**

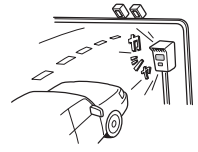
取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式
人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機（新Hシステム、レーダー式オービス）
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

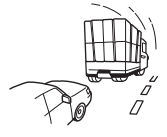
移動式
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。



取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。


〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕

〔下り道〕

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	・本体の電源スイッチはONになっていますか。(☛ 12ページ) ・シガープラグコードが外れていませんか。 ・シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 ・シガープラグコードの先端キャップ(☛ 7ページ) をゆるめ、ヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、市販の新しいヒューズ(1A) と交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても電源が切れない	・シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体の電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	・電源が入っていましたか。(☛ 12ページ) ・警報音は鳴りますか。テスト＆ミュートボタン TEST/MUTE を長押しして確認してください。(☛ 13ページ) ・取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 ・レーダー波を発射しない取締り(光電管式、追尾方式など)やステルス型取締りの場合、事前に探知できませんので、あらかじめご了承ください。 ・インテリジェントキャンセルされていませんか。(☛ 36ページ) ・受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(☛35ページ) ・「マナーモード」になっていませんか。アップボタン ▲VOL を押して解除してください。
GPS警報しない	・GPS測位していましたか。(☛ 22ページ) ・新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	・取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― ・電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	・レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)

症　状	チェック項目
ひんぱんに無線警報する	・放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	・「カーロケ・取締無線」を「ON」に設定していましたか。(☛ 40ページ) ・取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
誤警報がキャンセルされない	・「アイ（I）キャンセル」(インテリジェントキャンセル)の設定は「ON」になっていましたか。(☛ 36ページ) ・GPS 測位していましたか。(☛ 22ページ) ・新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 ・取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
速度表示が車両の速度計と異なる	・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
何も表示しない	・「マナーモード」になっていませんか。アップボタン ▲VOL を押して解除してください。 ・「待受画面」の設定が「OFF」ではありませんか。ビューボタン ◀VIEW を押して待受画面を変更してください。

その他

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧　：DC 12 V（マイナスアース車専用）
消費電流　：待機時：90mA 以下
（UHF部 OFF 時）
最大：175mA 以下
受信方式　：［GPS 部］
16 チャンネル / パラレル受信方式
［レーダー部］
スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：［GPS 部］ 1.6GHz 帯
［レーダー部］X バンド /K バンド
［UHF 部］ 350.1/470.7MHz 帯
動作温度範囲：－ 20℃～＋ 85℃
（GPS 部：－20℃～＋80℃）
（UHF 部： －10℃～＋60℃）
外形寸法　：［本体］
270（W）×80（H）×1 7（D）mm
（突起部除く）
重量　：［本体］305g

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器
本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール 0120-998-036